

1

生徒が主体となった 校舎改修計画

参加型公共施設づくりの
モデルケース

青森県立弘前工業高等学校

学科等/専門学科(建築科等) クラス数・生徒数/28クラス・903人 建築主/青森県
所在地/青森県弘前市馬屋町6-2 工事種別/改修 敷地面積/26,640㎡ 延床面積/5,866㎡ 竣工/2004年3月

■計画・整備のねらい

- 「住民参加型公共施設づくりのシステム研究」(青森県政策形成推進調査研究事業)のモデルケースとして実施
- 管理教室棟の「校舎改修計画」策定に対する取り組みを建築科の授業として行い、使い手となる生徒や教員の意見を具現化

■計画プロセス

①生徒と教員とのワークショップ



管理教室棟の機能の充実、生活の場としての充実を目指し、使い手となる生徒と教員によるワークショップを開催。主体となったのは建築科3年の課題研究班。

②CAD等を活用した検討



必要教室数の見直し、製図室などの共用化、機能的な収納など空間の確保、各室の機能的な配置と空間のつながりについて検討。

③改修計画発表(プレゼンテーション風景)



①や②のほか、他の高等学校施設の事例調査等のプロセスを経て、さらには青森県や弘前大学教育学部住居学研究室の協力も得て、校舎改修計画が策定され、発表が行われた。この成果物は、その後の設計業務において基本計画として反映された。

④「校舎改修計画」まとめ

- 1)教室とのアクセスを考慮した図書室・進路指導室の配置
- 2)分割可能な選択教室の配置
- 3)生徒用サロンやフリースペースの配置
- 4)開放的で明るく内装を木質化、廊下スペースの拡幅

■施設整備の工夫点

○教室から図書館へのアクセスの改善、特別教室の可動間仕切などによる機能的な空間構成



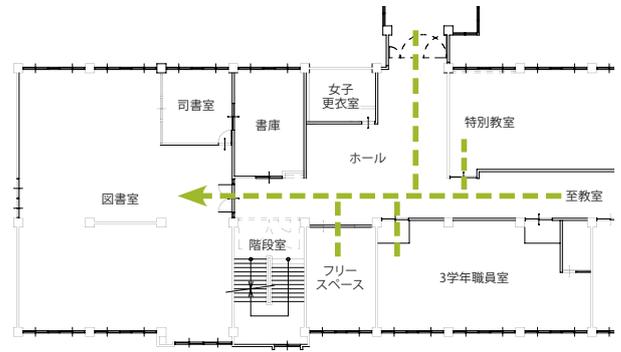
図書室を3階に移設し、教室とのアクセスに配慮した。



開放的で明るく、内装を木質化した温もりのある廊下。天井を一部曲面にすることで圧迫感を軽減。



可動間仕切で分割できる特別活動室。

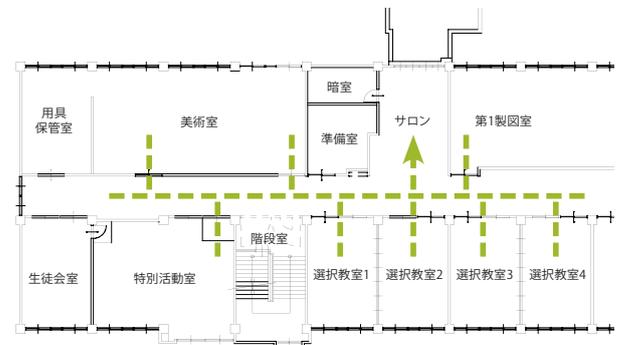


図書室は教室との連携をスムーズにするため同一フロアに配置。

○フリースペースやサロンなど交流空間を新設



フリースペースではコミュニケーションや学習活動が定着。



4階のサロン周り。各室からアクセスしやすい。



ベンチを設置したサロンは、生徒同士のコミュニケーションの場として活用されている。

■教育効果のポイント

○計画した図書館は、生徒の利用が増え、学習意欲が高まった。

○内装仕上げに木材がふんだんに使用され、温かみや落ち着きのある室内環境となった。